



自由の鐘

鶴岡市立鶴岡第三中学校
令和6年4月12日 発行
校訓 「切磋琢磨」

159名の新入生を迎え入学式が行われました



4月8日（月）に第53回入学式が行われました。今年度は在校生（2、3年生）と来賓の皆様も参加し、温かい雰囲気の中で、新入生の希望や決意が伝わる式となりました。

新入生159名を迎え、全校生徒516名での新年度のスタートです。今年度より学校教育目標が「自律・共生・創造」となりました。この3つの言葉を意識しながら学校生活を送り、「なりたい自分」を見つけることができるようがんばりましょう。

校長式辞より

朝夕の冷え込みには、時には厳しさも残りますが、日差しの心地よい暖かさや、生命の躍動を感じる、希望の春を迎えました。

本日は、公私ともにご多用の中、本校PTA会長 野口 義明 様をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席と、保護者の方のご列席を賜り、第53回 入学式を挙げてまいりましたこと、心より感謝申し上げます。

ただいま、呼び上げされた159名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生、そして教職員一同、皆さんの入学を心からお祝いし、歓迎します。本校の制服に身を包んだ皆さんの凛々しい表情や、力強い目の輝きから、緊張感の中にも、中学校生活への大きな期待と意欲を感じ取ることができました。しかし、心の中には、不安もあるはずですが、心配はいりません。二年生・三年生の先輩たちや先生方が、温かくそして丁寧に教えてくれます。どうぞ安心して一日も早く、鶴岡第三中学校での生活に慣れて、充実した日々を送ってほしいと願っています。

では始めに、私が校長として、みなさんにこの3年間の生活で、望むことを二つお話しします。

人は誰でも心の弱さを持っています。ついさぼってしまったり、見て見ぬふりをしてしまったり、何かをやる時にも人から言われたからやる、誰かに見られているからやっていた、という自分がいたかもしれません。でも、これからの社会で生きていくには、どんなときも自分の頭で考えて、自分で判断をして、自分から行動する力が求められます。それを「自律する力」といいます。みなさんに望む一つ目は、この3年間でその「自律する力」を身につけてほしいということです。これは、ステージの左側に掲げられている、鶴岡第三中学校の目標の一つです。

そして二つ目は、3年後にみなさんが義務教育を終えたあと、自分はどんな道を歩みたいのか、「なりたい自分」というのはどんな自分なのか、それを見つけることができるような3年間を送ってほしいということです。

では、この「自律する力」を身につけ、「なりたい自分」を見つけ出すために、中学校生活を送る中で、常にみなさんから、持ってほしいものを3つ挙げます。

一つは、これまでよりも「少し高い」目標です。このような言葉があります。「目標なくして計画なし、計画なくして行動なし、行動なくして結果なし」これはつまり、目標を持たずに、めざすところがわからない道を、ゴールが見えない道を、走り続けることは、無理だということです。中学校生活では、これまでのレベルより、少し高いところに目標を定め、実現に向けて努力しましょう。その努力する道のりが、あなたを成長させてくれます。

二つ目は、行動したあとの結果に対する「責任」を持ってください。目標に向かって努力をしても失敗することや結果が出ないことはもちろんあります。その時に、失敗した理由やできなかった理由を決して人のせいにははいけません。行動したのは、あくまでも自分なので、責任は自分にあります。責任を持つということは、上手くいかなかった原因を考え、次の行動に移すということです。そこで簡単にあきらめずに、粘り強く頑張るといことです。

三つ目は「豊かな心」を持ってください。豊かな心とは、美しいものに感動する心、人の痛みに気づく心、そして自分も相手も大切にできる心です。学校は様々な考えや個性を持った人たちの集まりです。お互いにその違いを認めることが必要で、大切です。相手を否定することや無視することは絶対にはいけません。豊かな心を持って生活すれば、きっといじめや嫌がらせなどのない、みんなが安心できる、居心地のいい学校になるはずです。これを本校の目標の二つ目にある、共に生きる「共生」と言います。

「自分と未来」は変えることができます。今日から新しい出発にあたり、「少し高い目標、行動への責任、豊かな心」この3つを心に留めて、頑張ってください。

保護者の皆様へ申し上げます。本日のお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、心身ともに成長著しい三年間です。子どもたちは思春期を迎え、心が揺れ動き、その反応に親として戸惑うことがあるかもしれません。でもそれは、自立への芽が芽生えた、表れでもあります。子育ては、同時に「自分育て」とも言われます。その過程で、悩んだとき、困ったときには、いつでも学校にご相談ください。子どもたちの幸せな成長を願う気持ちは、我々職員もまったく同じです。保護者の皆様としっかり手を携え、誠心誠意、取り組んで参ります。

結びに、新入生にとってこの3年間で、充実した輝く日々になることを願うとともに、今後とも保護者の皆さま、地域の皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。